

財務資本

投融資一体などの特色ある事業活動を支える強固な財務基盤を維持・強化するとともに、適切なリスク・リターンのポートフォリオを構築して、持続的な成長を目指します

特に関連するマテリアリティ



リスクマネー供給に向けた経営基盤強化

基本方針

セクター戦略(□ P32-35)、エリア戦略(□ P36-37)、機能戦略(□ P38-45)を軸とする事業戦略の推進に際し、財務資本は重要な経営基盤のひとつとなります。セクター戦略、リスクマネー供給業務の推進や、危機対応業務の実施に際しては資金・資本等の強固な財務基盤が必要であり、規制資本(自己資本比率を中心と

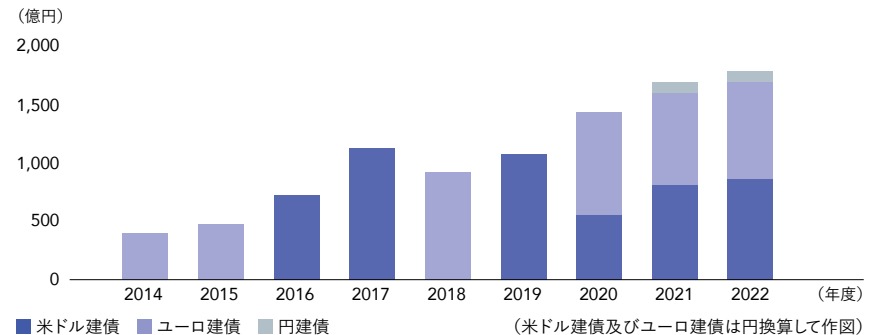
する管理)や経済資本(ストレステスト等を活用した資本管理)を加味したリスク/リターン分析の高度化を行い、リスクアベタイトフレームワークの考え方を活用した経営管理を通じて、財務資本の維持・強化を図っていきます。

DBJサステナビリティボンド

日本の発行体として初めて2014年度にグリーンボンドを発行し、2015年度からはサステナビリティボンドを毎年発行しています。2021年度からは、外債に加え国内債も発行し、2022年度時点で我が国発行体として唯一9年連続の発行となりました。

調達した資金は、DBJ Green Building認証の対象不動産への融資、環境格付融資、再生可能エネルギープロジェクト向け融資等のグリーン分野向け融資に加え、BCM格付融資や地域緊急対策プログラム等のソーシャル分野向け融資を通じ、持続可能な社会の実現に寄与しています。調達資金の管理や使途の報告に関する方針について第三者機関からの評価を受け、透明性を高めています。また、2017年1月に我が国で初めてGreen Bond Principles*に発行体メンバーとして参加したほか、グリーンボンドガイドラインをはじめとする各種ガイドラインの見直し等の検討を行う「グリーンファイナンスに関する検討会」に委員として参加するなど、国内外のサステナブルファイナンス市場の発展に貢献しています。

サステナビリティボンド発行実績



* Green Bond Principles: 国際資本市場協会(ICMA)及び投資家、発行体、証券会社等のメンバーで構成され、グリーンボンド市場の透明性向上と情報公開を目指す自主的なガイドラインである「グリーンボンド原則」の年次更新、メンバー間での情報共有及び社会への情報発信を行う団体